

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	日土	出奥、防川、新堂、統藪、松岡、梶谷岡、横尾地、榎野、森山、小坂、田之窪、川辻、中当、今出、神明	令和3年3月22日	令和 年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	419.6	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	302.8	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	81.1	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	34.7	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	10.1	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.38	ha
(備考) ・中心となる経営体は59経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、13経営体、拡大予定面積10.77ha。		

## 2 対象地区の課題

<input type="checkbox"/> 現在の耕作・維持管理	耕作・維持管理ができていない農家が多い。
<input type="checkbox"/> 農業後継者・高齢化	小坂集落、森山集落は高齢化率が高い。
<input type="checkbox"/> 今後の地域農業の担い手	確保できる見通しである。
<input type="checkbox"/> 新たな農地の受け手確保の必要性	必要である。
人家周りの園地は、耕作者が限定され、急傾斜地など立地が悪い園地は、新たな耕作者を見つけにくい。 災害により耕作放棄した園地がある。 比較的后継者が多くいるようだが、急傾斜地では高齢化率も高く、今後農地を維持していくことが難しいように感じる。	

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心となる経営体に耕作放棄地を集約していく。 年間、2名ほどの新規就農者を確保していき、耕作放棄地の解消に努めていきたい。
--

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

スプリンクラー施設の更新。 南水4～6ブロックのリニューアル工事を進めることで、今後の営農活動を維持していきたい。
一世帯あたりの耕作面積が多い農家に、さらに集積していくことは難しいため、Iターン・Uターンの新規就農者を確保していく必要がある。
日土橋4Hクラブを活用した、後継者・新規就農者のスムーズな受入れ。
鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。

